

北海道北見緑陵高等学校

学習目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
学習方法	演習問題を中心に、より具体的な理解を促す。 演示実験を取り入れ、複雑な現象の理解の一助とする。問題演習を中心とした復習を欠かさず、定着を図る。		
学習評価	育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容
	1	基盤的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。
	2	問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。
	3	情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4	主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。
	5	協働力	他者を尊重し、協働することができる。
	6	自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。
	7	実践力	自ら考えて行動し実践することができる。
	8	自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。
	以上の観点をふまえ、 授業の取り組みや定期考査、課題テスト、課題提出状況などを総合的に評価します。		
担当者から			

[illegible]